

■編集後記

*7月の参議院選挙がはるか遠くに感じる今日この頃です。選挙結果は残念ながら、改憲勢力が三分の二を占めるという結果になりました。直前に安倍元首相の銃撃というショッキングな事件が起こり、それを契機に自民党と旧統一教会の癒着関係が徐々に明らかになりつつあります。1980年代、靈感商法などで問題になった旧統一教会は、政権に深く食い込むことで追及を逃れ、自民党はその見返りに選挙協力などズブズブの関係を続け、政治をゆがめてきたということです。とりわけ、安倍政権になってその関係は一層あらわになりました。追及の手は緩めてはならないと考えます。*そして安倍元首相の「国葬」です。そもそも法的根拠もなく、憲法にも違反し、閣議決定だけで決めてしまうその手法は、安倍政権時代にも集団的自衛権行使容認を決めた閣議決定にみられるよう、立憲主義を破壊するものです。*この状況で岸田政権の支持率は急落し、毎日新聞の調査ではついに30%を切りました。しかし、支持率だけで喜んではいけません。国葬問題でも態度表明が遅すぎた立憲民主党の支持率は残念ながら伸びていません。自公政権を支持しない勢力の受け皿が日本維新の会や賛政党などに向かはないように、気を引き締めなければなりません。*3年越しで「私たちの表現の不自由展・その後」が開催できました。警察の厳重な警備の基での開催です。この状況こそが、表現の自由が脅かされているという日本の現状を表していると思いますが・・・。台風一過、少し涼しくなりましたね。(みはぎ)